

木の実草の実 Part 2

冬枯れの野山では、木の実や草の実が目につくものです。先月はお正月にふさわしいナンテンをとりあげました。さて今月は。

写真は、12月上旬からウェットランド管理棟の玄関にかざってあるリース。山口さんのお手製です。光沢のある茶色の丸い実が美しく、オシャレでシックに仕上がりました。



でも、材料の正体はご存じないようです。多分、知らなかったから良いものができたのでしょう。

材料の正体はヘクソカズラ。葉や蔓を傷つけると、その名のとおり強烈な匂いを発します。万葉集ではクソカズラと詠まれているそうですが、後世の命名者には、クソだけではもの足りなかったようです。ただし、枯れて乾いてしまえば、多少のことでは匂いませぬ。

図鑑によれば、ヘクソカズラの実はしもやけの薬として古くから利用されてきたそうです。別の図鑑では、熟果の果肉はマーマレード状で、苦みはあるがほんのり甘い、とありました。こちらの著者は、ずいぶん勇気のある方の方です。